

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最大13細胞/mL、麻痺性貝毒原因プランクトンであるアレキサンドリウム属が最大18細胞/mL確認されました。

また、柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、コクロディニウム・ポリクリコイデスが藻津でも0.12細胞/mL、アレキサンドリウム属が大島中央でも0.02細胞/mL、青瀬山でも0.38細胞/mL確認されました。

アレキサンドリウム属は、主に二枚貝（食用を含む）を毒化させる恐れがあるので十分注意してください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属
A 藻津 (-/36m) 【09:38】	0	20.5	29.4	7.6	0	0
	2	20.9	33.8	7.2	0	0.01
	5	20.7	34.3	7.0	0	0
	★ 10	20.5	34.4	6.6	0	0
	15	20.4	34.4	6.8	-	-
	20	20.3	34.4	6.8	-	-
B 宇須々木 (-/25.9m) 【09:26】	0	20.1	31.6	7.4	0	2
	5	20.8	34.3	6.9	0	0
	★ 10	20.5	34.4	7.0	10	0
	15	20.4	34.4	6.7	-	-
	20	20.3	34.4	6.6	-	-
C 大島中央 (-/31.9m) 【09:47】	0	20.5	31.9	7.3	0	0
	5	20.6	34.4	7.0	0	0
	★ 10	20.3	34.4	6.9	0	0
	15	20.3	34.5	6.7	-	-
	20	20.2	34.5	6.7	-	-
D 小筑紫中央 (-/48.5m) 【09:58】	0	21.1	33.1	7.2	0	0
	★ 5	20.6	34.4	7.1	0	0
	10	20.5	34.5	7.2	0	0
	15	20.3	34.5	7.1	-	-
	20	20.1	34.5	7.1	-	-
E 真珠 (-/31.4m) 【09:14】	0	20.5	31.3	7.4	0	2
	5	20.9	34.3	7.2	0	0
	★ 10	20.6	34.4	7.1	12	0
	15	20.4	34.4	6.7	-	-
	20	20.2	34.5	6.6	-	-
F シラハエ (-/38.4m) 【10:09】	0	20.4	29.5	7.4	0	4
	5	20.7	34.3	7.1	0	0
	★ 10	20.5	34.4	7.0	0	0
	15	20.3	34.4	6.9	-	-
	20	20.2	34.5	6.8	-	-

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	クロロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属
G 立石 (-/24m) 【10:17】	0	20.9	31.9	7.2	0	5
	5	20.5	34.4	7.1	0	0
	★ 10	20.4	34.4	7.0	7	0
	15	20.3	34.4	6.8	-	-
	20	20.1	34.5	6.8	-	-
H 一切田 (-/21.2m) 【10:44】	0	21.2	31.4	7.3	0	1
	5	20.7	34.4	7.1	0	0
	10	20.4	34.4	6.9	0	0
	★ 11	20.4	34.4	6.9	0	0
	15	20.2	34.4	6.6	-	-
	20	20.0	34.5	6.5	-	-
I 栄喜奥 (-/13.2m) 【10:27】	0	20.9	27.4	7.4	0	1
	5	20.6	34.4	6.7	0	0
	8	20.4	34.4	6.7	2	0
	★ 10	20.4	34.4	6.6	0	0
J ヒロウラ (-/24.3m) 【10:56】	0	21.2	23.5	7.5	0	18
	2	21.0	33.9	7.2	0	0.46
	★ 5	20.8	34.3	6.9	0	0
	10	20.4	34.4	6.6	13	0.06
	15	20.3	34.4	6.8	-	-
	20	20.1	34.5	6.7	-	-
K 田ノ浦 (-/6.3m) 【09:01】	0	20.6	31.4	6.7	0	3
	2	21.0	34.0	6.8	0	2
	★ 5	20.9	34.2	6.4	0	6
L 青瀬山 (-/15.1m) 【10:36】	0	21.2	28.9	7.1	0	0
	★ 5	20.7	34.4	7.2	8	0
	10	20.4	34.4	6.9	8	0
	15	20.1	34.5	4.9	-	-

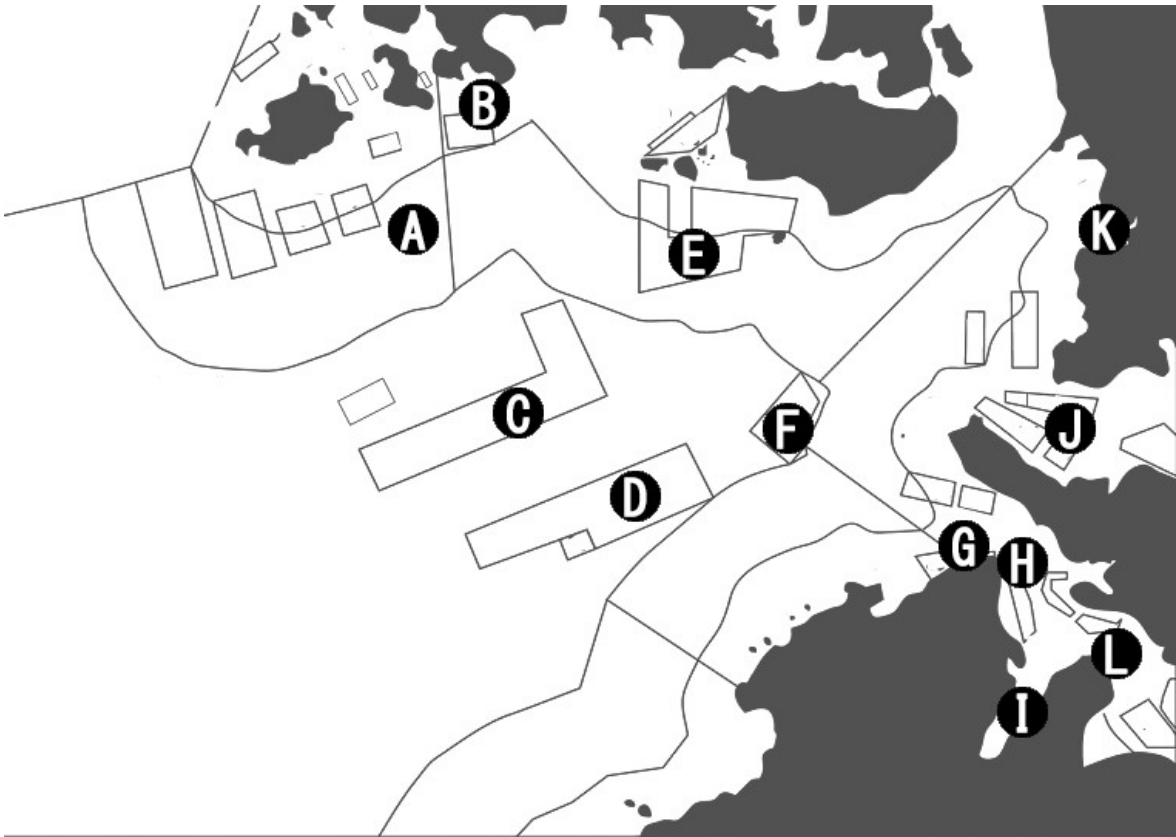
クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

貝毒原因プランクトンのモニタリングのため、藻津及びヒロウラの0m、2m、5mの深度から採水した海水の濃縮検鏡を実施しています。

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp)においてもご覧いただけます。



- A: 藻津

B: 宇須々木

C: 大島中央

D: 小筑紫中央
- E: 真珠

F: シラハエ

G: 立石

H: 一切田
- I: 栄喜奥

J: ヒロウラ

K: 田ノ浦

L: 青瀬山

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。